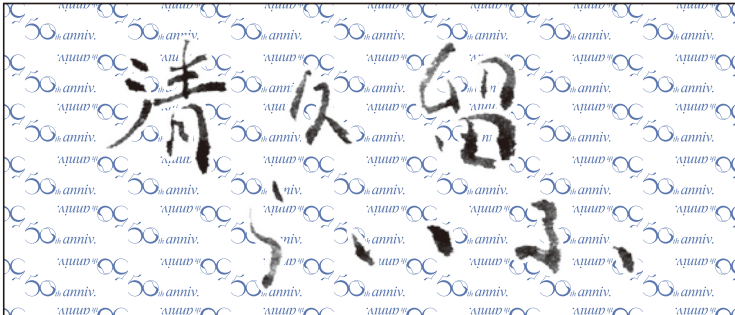


参議院選挙

忘れずに投票しましょう

7月20日(日)は参議院選挙の投票日です。物価高対策が大きな論点となっています。必ず投票に行きましょう。



発行所
東京土建一般労働組合
清瀬久留米支部教育宣伝部
〒203-0054 東久留米市中央町5-10-17
TEL 042-473-8751
FAX 042-473-8753
発行者 尾 芦 富 雄
編集者 池 崎 健 司

安全標語コンクール 2025 優秀作品発表

今年度の支部安全衛生活動の始めとして、支部の安全スローガンを決める安全標語コンクール2025を開催しました。多数の仲間に応募をいただき22語の中から87名の投票で優秀作品が決定しました。また、今回の最優秀作品を東京土建本部の安全標語コンクールへ応募いたします。たくさんのご応募ありがとうございました。入賞者へ賞品を8月にお渡しさせていただきます。

- 賞品
- 最優秀賞…商品券7千円
 - 優 秀 賞…商品券5千円
 - 佳 作…商品券3千円

最優秀作品賞

お互いに 声かけあって 気分よく
(松竹分会 小川 律子さん)

優秀作品賞

現場作業、家族を思い 安全作業！
(清里分会 伊藤 康裕さん)

高所では 命かけずに 綱かけて
(元塩分会 望月 慎一郎さん)

佳 作

無災害 一人ひとりの 心がけ
(三葉分会 笹原 康弘さん)

身につけよう 日頃の予防と 対策を
(青空分会 佐藤 聖峻さん)



▲青空分会の新企画「測ってナンボ」



▲コマ回しは大人にも人気



▲職人手作りのゲーム「おたまごコロリン」



▲カンナの使い方も丁寧に教えます

新企画も大人気

第48回 住宅デー

6月1日(日) 東久留米
市役所前ひろばで第48回住宅デーが開催されました。今回の住宅デーは子どもたちにも職業体験をしてもらおうと各分会が企画を考え、釘打ち、カンナ削り、丸太長さをレーザー距離計で測る「測ってナンボ」、その他の木片を自由に組み合わせさせておもちゃを作る「木っ端トイ」や青空分会の新企画、実行委員と各分会の協力者のおかげで朝の準備も終了後の撤収もスムーズに行われ、とても良いイベントとなりました。今後も地域の大人も楽しく体験やゲームに参加していました。当日は天気にも恵まれ全体で450人程の来場者が訪れ大変賑やかな会場でした。皆さまので、新たに協力していただける方はぜひご参加ください。

書記局 池崎健司

きよくる税セミナー開催

税務調査対策など

税金対策セミナーを開催します。今回は、東京南部会計の佐伯和雅税理士による「税務調査対策とクラウド会計の注意点」の講演を予定しています。東京土建本部でも講演を行なっていて、内容が分かりやすいと評判の講師です。これまで参加した事無い方もオンラインで視聴も可能ですので、是非

【とき】
8月27日(水)
19時30分より

【ところ】
清瀬久留米支部会館
3階、WEB

▶丸太切りに挑戦

▶みんなで朝の準備中

▶自分でも木片を組み合わせる「木っ端トイ」

▶たくさんの方に来場いただきました

熱中症にご注意！

今年も暑い日が続いています。建設業は全産業の中でも熱中症の件数が多く、気付かない内に重症化するケースもある恐ろしい疾病です。6月の法改正により、現場での熱中症対策が変わったという方もいると思いますが、ご自身でも体調の管理を怠ってしまうと熱中症になるリスクが高くなってしまう

1. 熱中症の見分け方と応急手当

あれっ、何かおかしい	あの人、ちょっとヘン
手足がふる	イライラしている
立ちくらみ・めまい	フラフラしている
吐き気	呼びかけに反応しない
汗のかき方がおかしい	ボーッとしている
汗が止まらない／汗がでない	

これら初期症状
何となく体調が悪い
すぐに危れる

いつもと違うと思ったら、熱中症を疑え
専門知識がないと、熱中症が判断できない

救急車が到着するまで
作業着を脱がせ
水をかけ全身を
急速冷却

すぐに119



水分をとる。熱中症警戒アラートを確認して、作業工程を見直す。作業中には単独作業をなるべく控える。万が一現場で熱中症の症状が出ている人がいる場合は救急車を呼び、応急処置を行いましょう。また、熱中症で病院に罹った場合は労災適用となりますので、申請方法等で分からない事があれば支部まで相談ください。

労働対策部

今年も暑い日が続いています。建設業は全産業の中でも熱中症の件数が多く、気付かない内に重症化するケースもある恐ろしい疾病です。6月の法改正により、現場での熱中症対策が変わったという方もいると思いますが、ご自身でも体調の管理を怠ってしまうと熱中症になるリスクが高くなってしまう

今年は自然に泣かされ…

&で分かれたじゃがいも掘り&交流会



▲じゃがいもを使った料理を食べながら大盛り上がり



▲たくさんとれたかな？
いも掘りもたくさん仲間が参加

2024年にじゃがいも掘り交流会を好評を博した年は二部に分けて行い、5月25日(日)に支部会館下でおこなった交流会は37人、6月15日(日)交流会の両方を予定して

に行ったじゃがいも掘りは29人が参加しました。昨年の実施ではシーズン終盤だったという経験から学び、平年ならば収穫時期に重なる5月に掘り体験と交流会の両方を予定して

ました。2がいがいもを使った料理を食べ

ながら交流を深めました。そして、延期となったじゃがいも掘り。直前まで雨の予報があり中止するかの判断に迷う状況だったものの、実施時には雨も上がり、多くの家族連れでにぎわいました。農家さんの計らいによるダイコンやキュウリの収穫体験も行われました。自然は気まぐれである、という経験を学んだと同時に泣かされた「じゃがいも

掘り&交流会」となりました。しかし、各回に参加して下さった参加者の皆様、そして準備にあたった厚生文化部・組織部の部長さん、当日お手伝いいただいた長谷川厚生文化部部長の奥様、御子息、畑を提供して下さいました山下さんのおかげで無事成功しました。あらためて感謝いたします。皆さん、ありがとうございました。そして、お疲れ様でした！

厚生文化部担当書記

村井 瑛道

イライラ棒企画に205人

東久留米

第29回東久留米市環境フェスティバルが6月7日(土)、8日(日)の2日間、東久留米市市民プラザホール、屋内屋外ひろばにて開催され、二日間で延べ2300人が来場しました。この環境フェスティバルは、「環境について学び、活動につなげる」ことを目標として、毎年6月の環境月間に開催されており、清瀬久留米支部も環境フェスティバルの開催理念に賛同し企画協力をしております。今年も「イライラ棒体験企画」で6月



▲当日は205人が体験

今回は昨年使用したイライラ棒からサイズも内容もバージョンアップされたもので、会場でも一目を引きます。体験希望者は子供から大人まで幅広く、真剣な眼差しで音を鳴らさないように、慎重にコースを進みます。無事にゴールできたお菓子をプレゼントし、体験者を楽しませることができました。体験コーナーは支部役員が中心となって運営しましたが、初めて参加してくれた仲間も



仕事対策担当書記

本島 厚司

あらかると

選挙に行かないあなた
投票しましょう

つけが回ってきた。主食なのである。

米が異常な高値になっている。つれあいは、新潟県東蒲原郡上川村(現：阿賀町)の出身だ。今でも水田はあるが、やめてしまったところが多い。上川村だけではなく日本の米作りは大きく衰退している。

大きな原因は、米だけ作っても農家として成り立たないからだ。主食なのである。なんでこうなったのか、歴代政府の減反政策だ。今になって

この国の未来を決めるのは国民です。とりあえず選挙、投票に行きましょう。半分以上の人々が選挙に行かないのが当たり前になっていきます。選挙に行きましょう。

松竹分会 阿部 史夫